

2nd Pugwash Conference (11)

March ~ April, 1958

Beauport, Quebec, Canada
22名出席, 私の意見は:

Powell:
Russell:
Eaton:

Rotblat: 報告

i) 核兵器の廃絶

- a) 核兵器の存在, probab. → accident 2 起る
- b) 核兵器の貯蔵
- c) 小国が核兵器を持つ可なり
- d) 核兵器の廃絶
- e) 核兵器の survival

ii) 核兵器の管理

- a) 核兵器
- b) 管理
- c) Inspection
- d) Regional settlement → 中絶世界
- e) 核兵器の貯蔵
- f) 核兵器の廃絶
- g) 国際条約

iii) 核兵器の

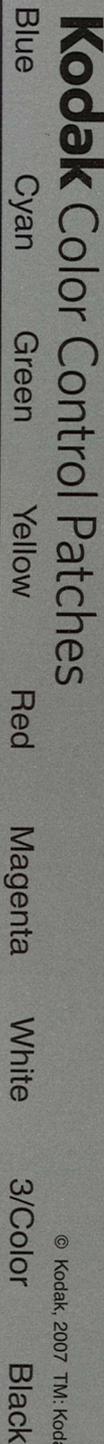
- a) 共同管理
- b) CERN, Doornik
- c) ...
- d) 核兵器の管理

iv) 核兵器の管理
人道的世界

4th: Pauling 議長

Szilard: 核兵器の管理
核兵器の管理

Oliphant: 小国が核兵器を持つ問題



(2)

5年程で終了。
Hüggel's 比較的可能性
既成可能。FRP-物理学的可能。

2nd: Oliphant idea.

Wiener: 長期計画。
不測の出来

Topchev: 十字路

→ 物々無情さへ、
核外式な世界。
首領風流。

空路接近から

軍事基地の所也

空路空軍の輸送計画。

Pauling

World Peace Organization

1000人; 財力豊富

3rd: Wiener 計画

Logson:

World Security System

Washington:

計画の中心に在る。

Rowell:

空軍計画

4th: ~~Topchev~~ Topchev 計画

44年(1949)計画

Weizsäcker: 加速の核一。

Topchev

ITP-1-1(未): 空路計画を第一とす

5th: ITP-1-1 計画

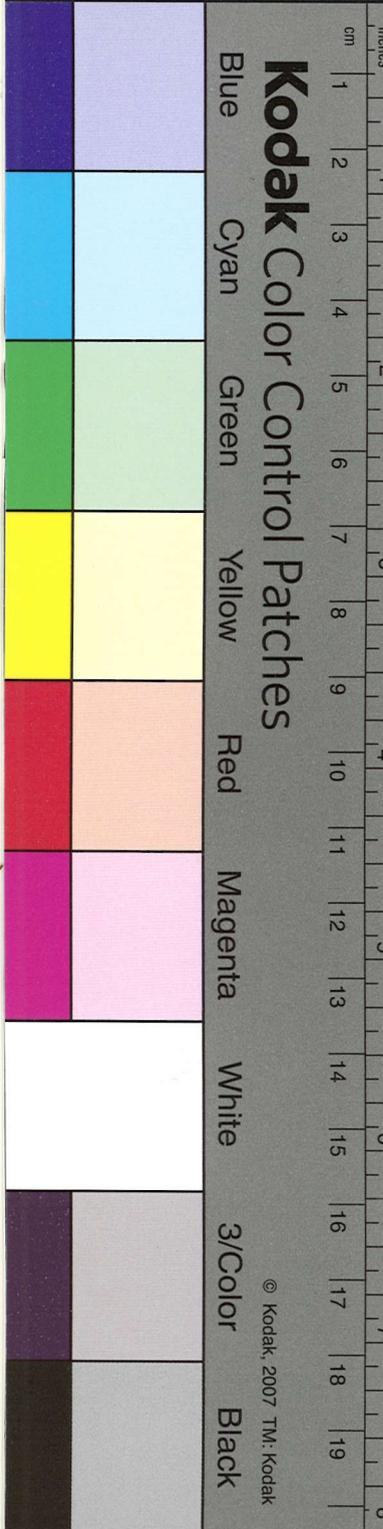
Accidental war (レジポーン) → 危険路大した事。

Baird's morality (Oliphant) →

既成可能 control (比較的可能性)

7th: Rabinowitch: 計画を急ぎ進め、
FRPでstopして再検討可能。

Emotional fallout (Watson) (4th)
-Watt



(3)

(2) 概況: 12日, 生態と発射のバランス.
Darwin: 11日. 虫取の.

8日: 20世紀末 → 50年後.
Weizsäcker 講演

S. Gellman: 虫取(特殊機構), 報告機構
S. Gellman: .. (米ソの一致)

9日: 虫取の会議. Austria, 9月15日 ~ 20日
核子衝突の危険
約80%
10日 11日
Pugwash 会議の概況.

(1) 11日: 28日までの経過.
Powell, 28日までの経過を報告する.
Power Pauling, Falloutの危険性.)

10日: Conclusion
マギー (フランス):

11日: Draft についての discussion
Shoelstin: 危険の原因を減らすという Rabinowitch.
の意見は, symptom を減らすことが重要.
7日までの経過.

